令和６年度 障害者等による文化芸術活動推進事業

**「障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調査」**

**調　査　票**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **回答者** | | | |
| 施設ＩＤ【必須】 | | ［　　　　　　　　　　　］ | |
| 施設名【必須】 | | ［　　　　　　　　　　　］ | |
| 施設所在地（都道府県）【必須】 | | ［　　　　　　　　　　　］ | |
| 問合せ先 | 氏名【必須】 | ［　　　　　　　　　　　］ | |
| 所属【必須】 | ［　　　　　　　　　　　］ | |
| 電話番号【必須】 | ［　　　　　　　　　　　］ | |
| メールアドレス【必須】 | ［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］ | |
|  | |  | |
| **１ 施設の基本情報** | | | |
| **質問1**設置者種別【必須】 | | 1. 独立行政法人（国）  2. 都道府県  3. 政令指定都市・特別区  4. 市町村  5. 公益財団法人・一般財団法人  6. 営利法人（株式会社・合資会社等） | ［(都道府県名)　　　　］  ［(市区名)　　　　　　］  ［(市町村名)　　　　　］  ［(財団名)　　　　　　］  ［(企業名)　 　 　　　 ］ |
| 7. その他 ［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |
| **質問2**運営形態【必須】 | | 1. 地方公共団体の直営 **⇒質問3へ**  2. 指定管理者 **⇒補問2-1へ**  3. 私立（民間）**⇒質問3へ**  4. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　］**⇒質問3へ** | |
| **補問2-1**　指定管理者の種類【必須】 | | 1. 公益財団法人・一般財団法人  2. 営利法人（株式会社・合資会社等）  3. NPO法人  4. 共同企業体・2社以上の共同運営  5. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |
| **質問3**　施設で勤務する職員数（令和6年4月1日現在）【必須】 | | ［　　　　　］名 | |

|  |  |
| --- | --- |
| **２ 政策** | |
| **（１）国の法律・制度** | |
| **質問4**貴施設は、文化芸術活動を通じて障害者の個性と能力が発揮されることや、社会参加の促進を図ることを目的とした「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が、平成30年6月に公布、施行されたことについて、職員間で周知されていますか | 1. はい  2. いいえ |
| **質問5**　貴施設は、障害者基本法及び文化芸術基本法の理念や方針を踏まえた「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画（第2期）」が、令和5年3月に策定されたことについて、職員間で周知されていますか | 1. はい  2. いいえ |
| **質問6**貴施設は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」（令和3年5月改正）に基づき、事業者による「合理的配慮の提供が義務化」されたことについて、職員間で周知されていますか | 1. はい  2. いいえ |
| **質問7**貴施設は、「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法）」が令和4年5月に施行されたことについて、職員間で周知されていますか | 1. はい  2. いいえ |
| **（２）地方公共団体の文化政策** | |
| **質問8　［公立の施設のみご回答ください］**  貴施設の設置自治体で文化政策に関する条例等で現在策定されているものをご回答ください【複数選択】 | 1. 「文化政策のための条例」を制定  2. 「文化政策の計画等」を策定  3. 「文化施設の管理運営に関する条例」を制定  4. 「文化施設の運営指針」を策定  5. 条例、指針などはない |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **３ 施設の対応** | | |
| **（１）設備のバリアフリー・情報保障** | | |
| **質問9**　障害者が施設を円滑に利用できるようにするために、施設に設置されているものをご回答ください【複数選択】 | 1. 車いす席　　　　　　　　　2. スロープ  3. 点字ブロック　　　　　　　4. 音声案内  5. 多機能型トイレ　　　　　　6. 電光掲示板（案内用）  7. 表示の色の組み合わせ・位置の工夫等、ユニバーサルデザインの採用  8. 光警報装置  9. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |
| **質問10**　障害者の鑑賞や参加のためのサポートとして保有している機材、設備などをご回答ください【複数選択】 | 1. 音声ガイド受信機  2. 音声ガイド発信機  3. 舞台鑑賞用字幕サポートシステム  4. 舞台鑑賞用音声ガイドサポートシステム  5. 音声補聴システム  6. 体感音響システム  **質問9 [使用したこのとある機材、設備など]**  施設に常設されている備品だけでなく、公演や実施に合わせ機材をレンタルした場合も含みます。  7. 電光掲示板（字幕表示用）  8. タブレット（コミュニケーション用）  9. 筆談ボード（筆談マークの表示等を含む）  10. コミュニケーション支援ボード  11. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |
| **質問11**令和元年度から令和5年度までの間に障害者の鑑賞や参加のためのサポートとして利用したことの有無をそれぞれの機材、設備などについてご回答ください | 1. 音声ガイド受信機  2. 音声ガイド発信機  3. 舞台鑑賞用字幕サポートシステム  4. 舞台鑑賞用音声ガイドサポートシステム  5. 音声補聴システム  6. 体感音響システム  7. 電光掲示板（字幕表示用）  8. タブレット（コミュニケーション用）  9. 筆談ボード（筆談マークの表示等を含む）  10. コミュニケーション支援ボード | ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし  ある　　なし |
| 11. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |
| **質問12**　**［質問10で《保有している》と回答した機材、設備のうち、質問11で《なし》をご選択いただいたものがある施設のみご回答ください］**保有している機材、設備を利用しなかった理由をご回答ください【複数選択】 | 1. 使用したいという要望がなかった  2. 利用する方法が引き継がれていない  3. 人員不足で利用できる体制がない  4. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］  **質問14 [合理的配慮の提供事例]**  事業者や行政機関等に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき※に、負担が重すぎない範囲で対応すること。  ※言語（手話を含む。）、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。  詳しくは、内閣府「障害者の差別解消に向けた理解促進ポータルサイト」をご覧ください。  　https://shougaisha-sabetukaishou.go.jp  報告書に事例として掲載させていただく予定です。掲載時には施設名の記入は致しません。 | |
| **質問13**　障害者が施設を円滑に利用できるようにするために、どのような情報発信を行っていますか【複数選択】 | 1. HPや印刷物等にバリアフリー情報を掲載  2. SNSやメールマガジン等でバリアフリー情報を発信  3. バリアフリーや情報保障についての相談窓口の設置  4. 障害者に対する対応について施設としての考え方やガイドラインを作成  5. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |
| **質問14**　貴施設において、これまでに行った合理的配慮の提供事例がありましたらご記入ください | ［(自由記述)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］ | |
| **（２）障害者からの意見聴取など** | | |
| **質問15**障害者への施設の対応や障害者に配慮又は対象とした事業の企画、運営等について、障害者から意見を聴いたことがありますか【複数選択】 | 1. 障害者にアンケート、個別聞き取りを実施  2. 障害者や障害者団体等と懇談やヒアリング、意見交換を行う場を設定  3. 企画・運営委員会等に障害者が構成員として参加  4. 疑問に思ったことを随時、普段つながりのある障害者に相談  5. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］  6. 聴いていない、わからない | |
| **（３）人材について** | | |
| **質問16**　職員の中に福祉について知識のある職員はいますか | 1. いる  2. いない  3. わからない | |
| **質問17**障害についての理解や障害者への対応について職員の研修を行っていますか | 1. 令和元年度から令和5年度の間に実施したことがある **⇒補問17-1、補問17-2へ**  2. 令和元年度から令和5年度の間には実施していないが、平成30年度以前に実施したことがある **⇒補問17-1、補問17-2へ**  3. 令和5年度までに実施したことはない **⇒質問18へ** | |
| **補問17-1**　研修の企画、参加方法【複数選択】 | 1. 自施設で勤務する職員を対象に研修会を企画し、実施  2. 職員が所属する地方公共団体、財団、会社等が企画、実施をする研修会に職員を参加させる  3. 外部の団体等が実施する研修会に職員を参加させる  4. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |
| **補問17-2**研修の内容【複数選択】 | 1. 法律、制度に関する研修  2. 障害について理解する研修  3. 障害者に配慮又は対象にした事業の企画、実施に関する研修  4. 障害者への対応、接遇についての研修  5. 災害時の障害者への対応についての研修や防災訓練  6. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |

**質問19 [貸館以外の事業] [年間事業数]**

「貸館以外の事業」「年間事業数」の数え方は質問4の説明をご参照ください。

|  |  |
| --- | --- |
| **４　障害者に配慮又は対象とした事業の取組状況** | |
| **（１）障害者に配慮又は対象とした事業（自主事業）の実施の有無と実施内容** | |
| **質問18**　貸館以外の事業（主催・共催含む）で障害者に配慮又は対象とした事業を行っていますか【複数選択】 | 1. 令和元年度から令和5年度の間に実施したことがある  **⇒質問19へ**  2. 平成26年度から平成30年度の間に実施したことがある  **⇒質問19へ**  3. 平成25年度以前に実施したことがある **⇒質問23へ**  4. 令和5年度までに実施したことはない **⇒質問23へ** |
| **《ご注意》質問19から質問22（5 他の組織等との連携）は《1. 令和元年度から令和5年度の間に実施したことがある》《2. 平成26年度から平成30年度の間に実施したことがある》をご選択いただいた施設のみご回答ください。《3. 平成25年度以前に実施したことがある》《4. 令和5年度までに実施したことはない》をご回答いただいた施設は質問23（6 まとめ）へお進みください。** | |
| **質問19**平成26年度から令和5年度までに実施した障害者に配慮又は対象とした事業の内容（詳細）①から⑨の内容をご記入ください**※最大3事業までご回答ください** | |
| **①**事業名 | ［(自由記述)　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　］ |
| **②**事業のホームページ（現在公開している場合URLをご記入ください） | ［URL:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］ |
| **③**分類【複数選択】 | 1. 鑑賞　　2. 創造　　3. 発表　　4. 交流　　5. 人材育成 |
| **④**対象 | 1. 障害のある人　２. 障害のある人・ない人の両方  3. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ |
| **⑤**対象とする障害種別【複数選択】 | 1. 身体障害（肢体不自由）　2. 身体障害（視覚障害）  3. 身体障害（聴覚障害）　　4. 身体障害（内部障害その他）  5. 知的障害　　　　　　　　6. 精神障害  7. 発達障害（学習障害を含む）  8. その他［(自由記述)　　　　　　　　　　　　　　　　］ |
| **⑥**実施場所【複数選択】 | 1. 施設内  2. アウトリーチ （実施先）【複数選択】  1. 児童福祉施設・教育機関（特別支援学校等）  2. 障害者福祉施設  3. 高齢者福祉施設  4. 医療施設  5. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　］ |
| **⑦**ジャンル | 1. 音楽　　　　　2. 演劇　　　3. 舞踊　　　4. 伝統芸能  5. 演芸（芸能）　6. 映画　　　7. 総合  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ |
| **⑧**主な財源【複数選択】  ※「入場料」を徴収した事業は、財源として少額でも必ず「入場料収入」も選択してください | 1. 入場料収入　　　2. 自主財源　　　3. 補助金・助成金  4. 協賛金　　　　　5. 寄付金  6. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ |
| **⑨**この事業ではどのような成果が得られましたか【複数選択】 | 1. 趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出  2. アイデンティティの形成や自己肯定感の向上  3. 自己表現及びコミュニケーション能力の拡大  4. 家族や支援者の考え方を前向きにすること  5. 地域住民との交流、相互理解や関係を築くこと  6. 劇場・音楽堂が多様な人との交流の場、居場所として認知されること  7. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ |
| **（２）事業の広報、工夫など** | |
| **質問20**　障害者の参加を促す上で、事業の告知・広報において効果的だった手段は何ですか【複数選択】 | 1. 貴施設が発信するホームページ、SNS、メールマガジン、広報誌など  2. 障害者へのダイレクトメールの発信、発送  3. 障害者向けのホームページ、SNS、新聞、雑誌、メディアなど  4. 行政が発行する広報誌、広告  5. 行政の福祉関係部局への情報提供、広報依頼  6. 社会福祉施設等（障害福祉サービス等事業所、障害児通所支援等事業所を含む）への情報提供、広報依頼  7. 学校（特別支援学校・学級を含む）、教育委員会への情報提供、広報依頼  8. 地域の住民団体（自治会、こども会など）への情報提供、広報依頼  9. 住民団体以外の非営利活動法人・団体（社会福祉協議会、社団、財団、NPO、任意団体など）への情報提供、広報依頼  10. 障害者芸術文化活動支援センター等への情報提供、広報依頼  11. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　］  12. 見つかっていない、わからない |
| **質問21**　事業を円滑に実施するためにどのようなことに取り組みましたか【複数選択】 | 1. 設置者の理解、協力体制づくりをした  2. 施設のミッションとして位置づけた（位置づけられている）  3. 事業を実施するための施設内での意識の共有、体制づくりをした  4. 有識者の協力を得た  5. 障害者や障害者団体等の協力を得た  6. 関係機関と連携した  7. 職員が研修等に参加し業務上必要なノウハウの習得に努めた  8. 補助金など財源を確保した  9. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ |

|  |
| --- |
| **５　他の組織等との連携** |
| **質問22　［質問18《1. 令和元年度から令和5年度の間に実施したことがある》《2. 平成26年度から平成30年度の間に実施したことがある》をご選択いただいた施設のみご回答ください］**  障害者への施設の対応や障害者に配慮又は対象とした事業を実施するにあたり、連携している又は連携していた組織等や連携内容についてお聞かせください   |  |  | | --- | --- | | 連携先 | 連携内容 | | ①地方公共団体の文化芸術関連部局【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ②地方公共団体の福祉関連部局【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ③他の劇場・音楽堂等【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ④社会福祉施設等（障害福祉サービス等事業所、障害児通所支援等事業所を含む）【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ⑤大学、専門教育機関【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ⑥学校（特別支援学校・学級を含む）、教育委員会【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  　　　　8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |  |  | | **⑦**地域の住民団体（自治会、こども会など）【複数選択】 | 1.連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ⑧住民団体以外の非営利活動法人・団体（社会福祉協議会、社団、財団、NPO、任意団体など）【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ⑨民間企業【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ⑩障害者芸術文化活動支援センター等【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ⑪アーティスト【複数選択】 | 1. 連携している ⇒**●内容へ**　　2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | | ⑫その他【複数選択】 | 1. 連携している　**連携先［具体的に：(自由記述)　　　　　　］**⇒**●内容へ**  2. 連携していない | | ●内容　1. 事業企画　　　　　　　2. 広報、参加者の募集  　　　　3. 事業の準備、運営（情報保障に関する助言を含む）  　　　　4. 出演者・講師の派遣　　5. 会場の提供  6. 資金補助、寄付　　　　7. 研修の実施  8. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ | |  |  | |

|  |  |
| --- | --- |
| **６　まとめ** | |
| **質問23**　劇場・音楽堂等が障害者に配慮又は対象とした事業を実施することはどういう意義があると思いますか【複数選択】 | 1. 地域のすべての住民に対しサービスを提供する  2. 障害者の個性と能力の発揮や社会参加の促進を図る  3. 文化芸術活動をとおして障害者の生活の質の向上を促す  4. 文化芸術活動をとおして障害者の交流などを促進し、住みよい地域社会となることを促す  5. 地域の住民に対して文化芸術をとおして新たなコミュニティを提供する  6. 地域の住民に対して社会的課題解決の場となる  7. 劇場・音楽堂等の社会的意義や社会的価値を示す  8. 文化芸術活動をとおして既存の文化芸術の表現に対して新たな視点がもたらされる  9. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ |
| **質問24**　**［質問18《4. 令和5年度までに実施したことはない》をご選択いただいた施設のみご回答ください］**障害者に配慮又は対象とした事業を実施していない理由は何ですか【複数選択】 | 1. 障害者を対象とした事業を実施することについての設置者の位置づけ、方針、指針がない  2. 障害者に配慮又は対象とした事業を実施するための財源が確保できない  3. 障害者に配慮又は対象とした事業は通常の事業よりも経費がかかる（かかりそうだ）から  4. 障害者に配慮又は対象とした事業を実施するための知識のある人材がいない  5. 障害者に配慮又は対象とした事業は、通常の事業よりも準備など手間がかかる（かかりそうだ）から  6. 障害者に配慮又は対象とした事業を実施するための充分な人員が確保されていない  7. 障害者に配慮又は対象とした事業を実施するための連携先等のノウハウがない  8. 具体的にどういう障害者にどういう事業を実施したらいいかわからない  9. 障害者からのニーズが感じられない  10. 劇場・音楽堂等が実施することの意味が感じられない  11. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　］ |
| **質問25**障害者に配慮又は対象とした事業を実施する上で、他の組織等と連携を組むにあたって、課題は何だと思いますか【複数選択】 | 1. 他の組織等とのコーディネーターとなる人材、組織がない  2. 他の組織等と連携事業を実施するノウハウがない  3. 近隣に連携できる組織等がない  4. 連携の依頼や打ち合わせなど連携に係る業務時間が取れない  5. 費用の負担  6. その他［具体的に：(自由記述)　　　　　　　　　　　］ |
| **質問26**劇場・音楽堂等が障害者に配慮又は対象とした事業を実施することについて、お考えなどをご自由にお書きください  **ご協力ありがとうございました。** | ［(自由記述)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］ |